

Ⅲ 新しいひとの流れをつくる

資料2

※事業費は決算ベース

観光イベント事業

事業番号 1	こども夢フェスタ支援事業			決算額	10,000 千円	
				所管課	観光課	
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円
				10,000	一般	

[主な事業内容と成果]
 ふくしまの子ども達に笑顔を届け、本県の元気を全国に発信することを目的に、全国のご当地キャラクターと本県の子ども達が触れ合う「しらかわキャラ市」(旧「ご当地キャラこども夢フェスタinしらかわ」)を開催する実行委員会に対し補助金を交付し、県南地方の活性化と持続的な発展、観光客の誘致促進を図った。



開催日：9月29日(土)・30日(日)
 開催場所：白河市総合運動公園
 参加キャラクター数：142キャラクター
 ※彦根市、羽生市と並び全国三大ご当地キャライベントとして認知されており、東北地方では最大規模
 来場者数：5万人(2日間合計)

【イベントの様子】

サイクルツーリズム推進事業

事業番号 2	サイクルマップ作成事業			決算額	2,419 千円	
				所管課	観光課	
財源内訳	国県	1,209 千円	市債	千円	その他	千円
					一般	1,210

[主な事業内容と成果]
 共同でサイクルツーリズムに取り組む、西郷村と栃木県那須町と本市を結ぶ「やまなみ周遊ルート」を選定し、平成29年度にサイクルマップとして作成した。
 平成30年度は、「やまなみ周遊マップ」を増刷するとともに、サイクリストに好評であるミウラ折り製法による「やまなみ周遊マップ」を作成した。



【やまなみ周遊マップ】



【やまなみ周遊マップ(ミウラ折版)】

サイクルツーリズム推進事業

事業番号 2	国内向けプロモーション事業		決算額	2,048 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	924 千円	市債	千円	その他	千円	一般	1,124 千円

[主な事業内容と成果]

「サイクルモードインターナショナル」(幕張)や「サイクルエキスポ」(さいたま)等、主に首都圏で開催される自転車展示会等において、誘客に向けたPR活動等を行った。



【サイクルモードインターナショナル】



【サイクルエキスポ】

サイクルツーリズム推進事業

事業番号 2	インバウンド観光推進事業		決算額	312 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	156 千円	市債	千円	その他	千円	一般	156 千円

[主な事業内容と成果]

本市及び西郷村、栃木県那須町の首長や観光関連団体等が台湾の旅行会社等を訪問し、トップセールスを行うことで本地域の魅力を力強く発信するとともに誘客を促進し、認知度の向上及びインバウンド誘客の獲得を図った。



【現地旅行会社へのトップセールス】



【商談会】

インバウンド推進事業

事業番号 3	アジアインバウンド誘致事業		決算額	11,165 千円				
			所管課	観光課				
財源内訳	国県	4,752 千円	市債	千円	その他	千円	一般	6,413 千円

[主な事業内容と成果]

①台湾及びベトナムを対象としたプロモーション事業

平成30年度の福島空港と台湾桃園(とうえん)国際空港を結ぶチャーター便の運航は96便であった。また、ベトナムは、訪日外国人数の対前年比伸び率ではアジアで最も高く、本市にも180名の方が南湖公園を訪れた。今後、福島空港を起点とするチャーター便を利用して台湾及びベトナムの方々県内の観光地を訪れる機会が増えることが見込まれるため、プロモーション活動を展開し、本市への誘客を図った。

②ゴルフ専門雑誌への掲載

県南地域に存する12のゴルフ場と本市の美しい自然、伝統文化、食、モノなど、全国に誇れる観光資源を、パンフレットやゴルフ専門雑誌へ掲載するなどの形にし、国内外に向けて情報発信することにより、本市への誘客の促進、観光消費額の増大を図った。

③モニターツアーの実施

白河を中心に那須・会津地域の地域資源を活用し、台湾のメディア及び旅行会社の関係者を対象とした「モニターツアー」を実施し、魅力を広く発信することで認知度の向上を図るとともに、台湾からの誘客を促進し、本地域の活性化を図った。



【ゴルフプレー後に小峰城で記念撮影】

小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業

事業番号 4	小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業		決算額	304,769 千円				
			所管課	文化財課				
財源内訳	国県	152,320 千円	市債	122,400 千円	その他	千円	一般	30,049 千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡「小峰城跡」の震災による石垣復旧工事が完了する平成31(令和元)年に向け、「白河集古苑」のガイダンス機能の整備を行い、市の歴史・文化財の情報発信の拠点とし、文化財を活用したホープツーリズムを推進するための施設として整備した。



【増築部分外観】



【小峰城ガイダンス展示】



【増築部分ロビー】

(単位:千円)

事業名	内 容	事業費	財源内訳			
			国	市債	その他	一般
小峰城跡ホープツーリズム拠点整備事業	・集古苑増改築 ・小峰城ガイダンス展示製作	304,769	152,320	122,400		30,049

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	二ノ丸御休処施設運営事業		決算額	千円	
			所管課	観光課	
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	0千円

[主な事業内容と成果]

国指定史跡である「小峰城」を含む城山公園内に立地する「二ノ丸御休処」において、市の特産品等を使用した物販や飲食の更なる充実を図るため、物販ブースと飲食ブースを区分するなど施設の増改築を行い、白河観光物産協会が運営を行っている。

- 施設来店者数 55,075人(改修前 39,054人)
※16,021人の増加(目標 13,546人の増加)
- 施設売上高 25,328千円(改修前 15,416千円)
※9,912千円の増加(目標 9,528千円の増加)
- 施設雇用者 8人(改修前 6人)
※2人増加(目標 1人の増加)



【二ノ丸御休処】

しらかわ地域観光交流拠点整備事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業番号 5	南湖休憩施設改修事業		決算額	千円	
			所管課	観光課	
原内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	0千円

[主な事業内容と成果]

南湖公園内の「地区計画」を導入しているエリアに立地する「南湖休憩施設」を集客の拠点施設とするため、先駆的に整備、改修を行った。平成30年度は、賃借者において、営業準備のための内装改修を行った。

- 敷地面積 五郎窪山50-2、51-1、51-2、14 1996.52㎡
- 用途地域 第一種低層住宅専用地域
- 用途 飲食店舗
- 構造 木造
- 規模 二階建
- 建築面積 323.37㎡
- 延床面積 421.77㎡



【南湖休憩施設】

空き家対策事業

事業番号 6	空き家対策管理事務	決算額	393 千円					
		所管課	まちづくり推進課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	393 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

空家バンクの運営等を通して空き家の利活用を促進することで、良好な住環境の確保を図る。

○空家バンク制度の運営
 公益社団法人福島県宅地建物取引業協会白河支部と協力し、空き家の中古住宅市場への流通の促進を図るため、空家バンクを運営した。

(H28～H30年度の実績)

物件登録者数 40件

利用登録者数 74件

契約件数15件(売買9件、賃貸6件)

○空家改修等支援補助事業

(H30年度の補助実績)

改修補助1件(実績額361,000円)

家財処分補助1件(実績額7,000円)

シティプロモーション推進事業

事業番号 7	シティプロモーション推進事業	決算額	3,884 千円					
		所管課	企画政策課					
財源内訳	国県	千円	市債	千円	その他	千円	一般	3,884 千円

[主な事業内容と成果]

シティプロモーションの重要性と必要性について市全体が共通認識を持てるよう、講演会を開催した。

また、高校生、市内の企業・団体・市役所の若手職員によるワークショップを開催し、当市の抱える課題や魅力の洗い出し、ロゴマーク・キャッチコピー案の検討を行った。

ワークショップでの検討結果を踏まえ、地域イメージの向上に繋げるための考え方や方向性を示したシティプロモーション基本方針を策定した。



【高校生によるワークショップ】



【若手職員によるワークショップ】



【地域活性化伝道師による講演会】

地域おこし協力隊活用事業

事業番号 8	地域おこし協力隊活用事業		決算額	14,916 千円	
			所管課	企画政策課	
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	16 千円一般	14,900 千円

[主な事業内容と成果]

地域おこし協力隊は、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度であり、隊員が一定期間地域に居住し、地場商品の開発・PR、農林業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を目指し、地域振興・活性化を図る取り組みである。
白河地域、表郷地域、大信地域及び東地域で各1名の隊員が活動を行った。

〈地域おこし協力隊 小倉宗則〉（白河地域）

活動内容

- ・マイタウン白河を活用したイベントの企画運営、情報発信
- ・中心市街地活性化

〈地域おこし協力隊 飯塚俊輔〉（表郷地域）

活動内容

- ・表郷地域のイベント補助、地域住民との交流
- ・他の自治体の地域おこし協力隊との交流
- ・ドローンに関する資格の取得



【ドローン】

〈地域おこし協力隊 嶋本雅之〉（大信地域）

活動内容

- ・CoderDojo白河の企画運営
- ・イベントの補助



【プログラミング道場『CoderDojo白河』】

〈地域おこし協力隊 大石秀敏〉（東地域）

活動内容

- ・空き家を改修した「蔵カフェ さんぼみち」の経営
- ・地元の農産物を活用した商品の開発等

まちづくり・ひとづくり事業

事業番号 9	まちづくり・ひとづくり事業		決算額	7,560 千円	
			所管課	企画政策課	
財源内訳	国県	千円市債	千円その他	千円一般	7,560 千円

[主な事業内容と成果]

将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとする多くの若者が集える場である、「コミュニティ・スペース」の運営を行った。

○地域を題材にした高校生ライターの活動

白河地域の高校生が白河の魅力を発見・発信するとともに、地域の人材との交流を創出した。

また、フリーペーパーやウェブページの作成、地域の取材活動のノウハウなど技術的助言も行った。

○各種イベントの開催

コミュニティスペースを活用し、若者、地域人材の交流を創出した。

- ・ふくしま新入生歓迎会、コミネス館長によるクリエイティブゼミの開催など

○地域産品を豊富に活用した商品の開発（地域おこし協力隊と連携）

白河市をはじめとする各地域の農産物等の魅力を伝える取り組みを行った。

- ・ハニーゆずネード（五箇地区のはちみつ、矢祭町地域おこし協力隊のゆず）
- ・イベントにおける白河高原清流豚や塙町産のかぼちゃを使った料理の提供など



【ふくしま新入生歓迎会】